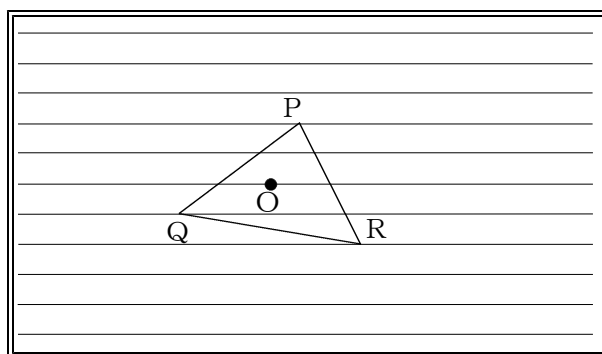


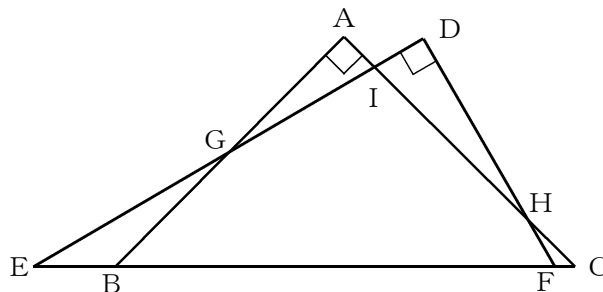
<相似な図形③>

組	番	名前

- 1 点O, P, Q, Rは、等間隔にひいた平行線上の点です。点Oを相似の中心として $\triangle PQR$ と相似の位置にあり、 $\triangle PQR$ との相似比が1:2となるような $\triangle P'Q'R'$ を、図の平行線を利用して、定規を用いてかきなさい。  
ただし、作図に用いた線は消さないこと。



- 2 右の図のように、 $\angle A$ と $\angle D$ がそれぞれ直角である $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が重なっています。辺ABと辺DEの交点をG、辺ACと辺DFの交点をH、辺ACと辺DEの交点をIとすると、 $\triangle AGI \sim \triangle DHI$ となることを証明しなさい。



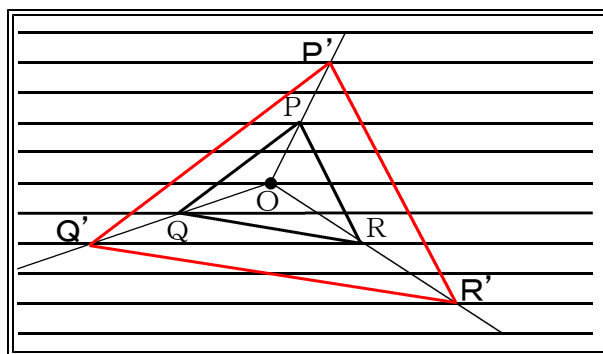
[証明]

<相似な図形③>

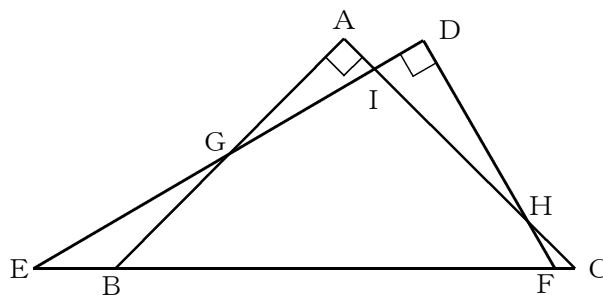
**解 答**

組	番	名前

- ① 点O, P, Q, Rは、等間隔にひいた平行線上の点です。点Oを相似の中心として△PQRと相似の位置にあり、△PQRとの相似比が1:2となるような△P'Q'R'を、図の平行線を利用して、定規を用いてかきなさい。  
ただし、作図に用いた線は消さないこと。



- ② 右の図のように、∠Aと∠Dがそれぞれ直角である△ABCと△DEFが重なっています。辺ABと辺DEの交点をG、辺ACと辺DFの交点をH、辺ACと辺DEの交点をIとすると、△AGI∽△DHIとなることを証明しなさい。



[証明]  
(例)

△AGIと△DHIにおいて、  
仮定から

$$\angle GAI = \angle HDI = 90^\circ \dots \textcircled{1}$$

対頂角だから

$$\angle AIG = \angle DIH \dots \textcircled{2}$$

①, ②より、2組の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle AGI \sim \triangle DHI$$